

別記様式第6号

産地活性化総合対策事業（国産花きイノベーション推進事業）に関する事業評価票

都道府県名	事業実施主体名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	事業内容 (検討会構成員、実施回数、実証試験の内容等)	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時)	目標年 令和5年	目標値	達成度合			
新潟県	新潟県花き振興協議会	30年度	全国農業協同組合連合会新潟県本部の花き取扱実績金額の増加	(基準年：平成28年) 3,743,296,342円	3,341,280,025円	4,117,625,977円	-107.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・花き関係者の連携支援 ・検討会の開催 ・日持ち性向上技術の実証 ・花文化の展示 ・講演会等の開催 ・フラワーコンテストの実施 	構成員 県内花き生産関係者、流通関係者、販売関係者、新潟県花き振興協議会販売・装飾部会、花き産業関係者、行政等	日持ち性向上技術の実証結果に基づいて作成したマニュアルを県内の花き生産・販売関係者に配付することで、県産花きの日持ち性向上の取組を推進できた。 令和5年度の取扱実績金額の目標値未達は、夏季の異常高温による花き品質の低下（短茎、奇形花等）による取扱数量減が主な原因と捉えている。 事業実施主体に対し、引き続き目標達成に取り組むよう指導するとともに、目標達成に向けた改善計画を提出させる。
			新潟市の家計調査における切り花及び園芸用植物の支出金額	(基準年：平成29年) 16,906円	13,050円	18,596円	-228.1%			イベント来場者アンケート（回答数725）から、フラワーアレンジの体験教室等を通じて、花きの購入意欲の向上や、新たに日常生活に花きを取り入れたい等、花きの消費拡大につながる反応が聞かれ、一定の事業成果が認められたが、目標の達成には至らなかった。 事業実施主体に対し、引き続き目標達成に取り組むよう指導するとともに、目標達成に向けた改善計画を提出させる。
			花きイベント等参加生花店等における売上高	(基準年：平成29年) 30,034,159円	29,316,838円	33,037,575円	-23.8%			目標年においては、イベント参加生花店における売上高は事業実施年比106%となり、一定の事業成果が認められた。 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症拡大以降低迷していたイベント需要が回復したため、前回評価時の令和3年度よりも売上高は回復したものの、一定程度の回復にとどまった。 事業実施主体に対し、引き続き目標達成に取り組むよう指導するとともに、目標達成に向けた改善計画を提出させる。
富山県	富山フラワーネットワーク	30年度	富山市の1世帯当たり切り花購入支出金額	(基準年：平成26～30年の5中3平均) 8,150円	7,716円	8,965円	-53.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会の開催 ・いけばな体験教室 ・フラワーバレンタインイベント展示 ・花と緑のふれあいフェア展示 	構成員 富山花き商業協同組合、(一社)日本生花通信配達協会富山支部、(公社)日本フラワーデザイナー協会富山支部、富山県華道連合会、(公財)花と緑の銀行、富山県花き生産者協議会、富山県花き生産者協議会、富山県花き仲卸組合、(株)富山中央花き園芸、富山県	平成30年より継続して花育教室等のイベントを実施しており、1世帯当たり切り花購入支出金額（R1～R3）について、全国では減少する中、富山市では6,563円から8,028円と増加したこと、生花店へのアンケートにおいて本事業が花きの需要喚起（生花店の売上増加：R3/R28比 平均13%増）につながったと確認されたことから、本取組により花きの消費拡大に一定の効果があったと考えられるものの、目標達成には至らなかった。 切り花は冠婚葬祭需要が多いが、総務省家計調査によると富山市における100世帯当たりの冠婚葬祭に関する支出額は、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、平成28年の297回から令和5年には193回と35%減少しており、今後もその傾向が見込まれる。 また、令和5年消費者物価指数（生鮮食品及びエネルギー除く総合指数）は前年に比べ4.0%上昇（42年ぶりの上昇幅）しており、その後も物価の高騰が続いている。消費動向調査における消費者態度指数は、事業を実施した平成30年の43.2から、コロナ禍の令和2年には32.4に落ち込み、令和5年は33.9となったがその後も物価高騰の影響で回復せず、消費者の購買意欲が低迷している状況であり、花きの購入金額の増加は見込みにくい。 こうした社会経済情勢の変化を踏まえ、今回で評価を終了する。 なお、事業実施主体においては今後、①児童等を対象とする花育教室等の開催、②花きの流通・消費拡大の推進に関するポスター・パンフレットの配布・掲載、③県内花き産地の生産出荷情報の発信の3点を実施することで、引き続き県産花きの需要拡大を図ることとしている。
石川県	石川県花き振興地域協議会	30年度	県産花き（ストック、ひまわり、切り花葉ぼたん、トルコギキョウ、フリージア、花壇用苗物）の生産出荷量の増加	(基準年：平成28年) 3,417.0千本・鉢	2793.3千本・鉢	3,758.7千本・鉢	-182.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・花き関係者の連携支援 ・検討会の開催 ・栽培管理技術の実証 ・花文化の展示 ・学校等での花育体験 	構成員 石川県花き園芸協会、金沢総合花き(株)、(株)金沢花市場地方卸売市場、石川県花商事業協同組合、金沢公設花き小売商組合、石川県生花小売商協同組合、北陸園芸商組合、日本生花通信配達協会（JFTD）石川県支部、NFD石川県支部、全農石川県本部、金沢公設花き地方卸売市場、石川県	栽培管理技術の実証により作成したフリージア（エアリーフローラ）及び切り花葉ボタンの栽培マニュアルの配付により生産技術向上の取組を推進できたものの、成果目標の達成には至らなかった。 高齢化によるベテラン農家の離農等で出荷量が減少する中、新規生産者の掘り起こしや、新規生産者を対象とした栽培技術向上のための研修会の開催に取り組んできたことで、近年、出荷量は横ばい傾向にはいるが、基準年の出荷量に届かない状況である。 事業実施主体に対し、引き続き目標達成に取り組むよう指導するとともに、目標達成に向けた改善計画を提出させる。
			県央地区における花きの出荷量の増加	(基準年：平成28年) 1,959千本	1,725千本	2,155千本	-119.3%			消費拡大の取組により、石川県産フリージアの平均単価や知名度が向上するなど一定の効果も認められたものの、成果目標の達成には至らなかった。 事業実施主体に対し、引き続き目標達成に取り組むよう指導するとともに、目標達成に向けた改善計画を提出させる。
			金沢市における切り花の購入金額の増加	(基準年：平成29年) 8,353円	7,341円	9,188円	-121.1%			